

# 日本循環器学会

## 若手医師と女性医師の活躍推進のための提言

近年、女性医師は増加しており、日本循環器学会の女性会員も増加が見込まれる。また、女性医師だけでなく、若手医師などサポートが必要な対象も多様になっている。

日本循環器学会ダイバーシティ推進委員会は、魅力ある循環器学を様々な背景を持つ医師が生きがいを持って取り組める領域にすべく努力し、循環器分野におけるダイバーシティの推進を図り、性別・年齢・その他マイノリティの視点に立った教育・研究・キャリアアップ・就業体制・ネットワークを確立するため、下記を提言する。

### 1. ワークライフバランスの支援

- (1) 性別・年齢の区別なく、柔軟な勤務体制を推進する
  - A. 短時間勤務等、適切な勤務時間
  - B. ワークシェアリング
  - C. グループ主治医制
  - D. 特定業務の免除・軽減：残業、当直、時間外勤務（早朝、夜間、休日勤務など）、緊急呼び出し、オンコール、放射線業務など
- (2) 仕事と家庭との両立を支援するため、家事・育児・介護の分業、育児においては保育所・病児保育室の積極的活用を推進する
- (3) 上司や職場の理解をさらに促進するため、ダイバーシティに対する世代間の価値観の相違を理解し、無意識バイアスの自覚など相互理解を深め、ダイバーシティ企画への積極的な参加を働きかける

### 2. キャリアアップの支援

- (1) 女性・若手に多くの経験の機会が与えられるように、総会・各支部の地方会において、座長の機会を提供し、座長リストや座長の手引きを作成するなど、そのサポートを行う
  - A. 女性座長の比率は、母集団である女性会員と同率以上とする
  - B. 学会の活性化のため、若手座長の登用を可能なかぎり積極的に検討する
  - C. シンポジウム等についても、女性・若手座長の登用にも積極的に検討する
- (2) 循環器医が、学会参加や専門医単位を取得しやすいように、各支部の地方会でも、託児サービスを提供する
- (3) 循環器分野のダイバーシティを学術的に検証したものを論文等で発表し、ダイバーシティの活性化を図る
- (4) 循環器医における公平な教育・評価方法等の提案を目指す
- (5) 日本循環器学会の女性理事、女性社員、FJCS、女性支部評議員の増員を提案する
  - A. 女性理事、女性社員、FJCSの定員は母集団である女性会員と同率を目指す
- (6) 日本循環器学会の各委員会やガイドライン作成班などへの女性・若手の積極的な参画を図る

### 3. ネットワーク

- (1) 女性・若手循環器医の悩みや意見を共有できるネットワークを構築し、ロールモデルのマッチングや交流会を、年 1～2 回開催する
- (2) 産休・育休・介護休暇中、もしくは病気等による休職が生じた際に代替循環器医確保のために、幅広いネットワークの構築をめざす
- (3) 学術集会やITツール等を利用し、各支部地方会、他学会、医学以外の他分野との連携を図り、全国的なダイバーシティネットワークの構築を目指す
- (4) 多様な働き方を推進する取り組みについて、地域や学会の垣根を超えたネットワーク構築・活用し、有効であった事例を共有・実装する
- (5) 構築したネットワークを介して、ダイバーシティ分野における地域や施設間における差の是正を図る

2023年9月13日 日本循環器学会 ダイバーシティ推進委員会